

# 令和2年度 木材利用促進業務 事業報告書（概要版）



2021年3月30日(火)



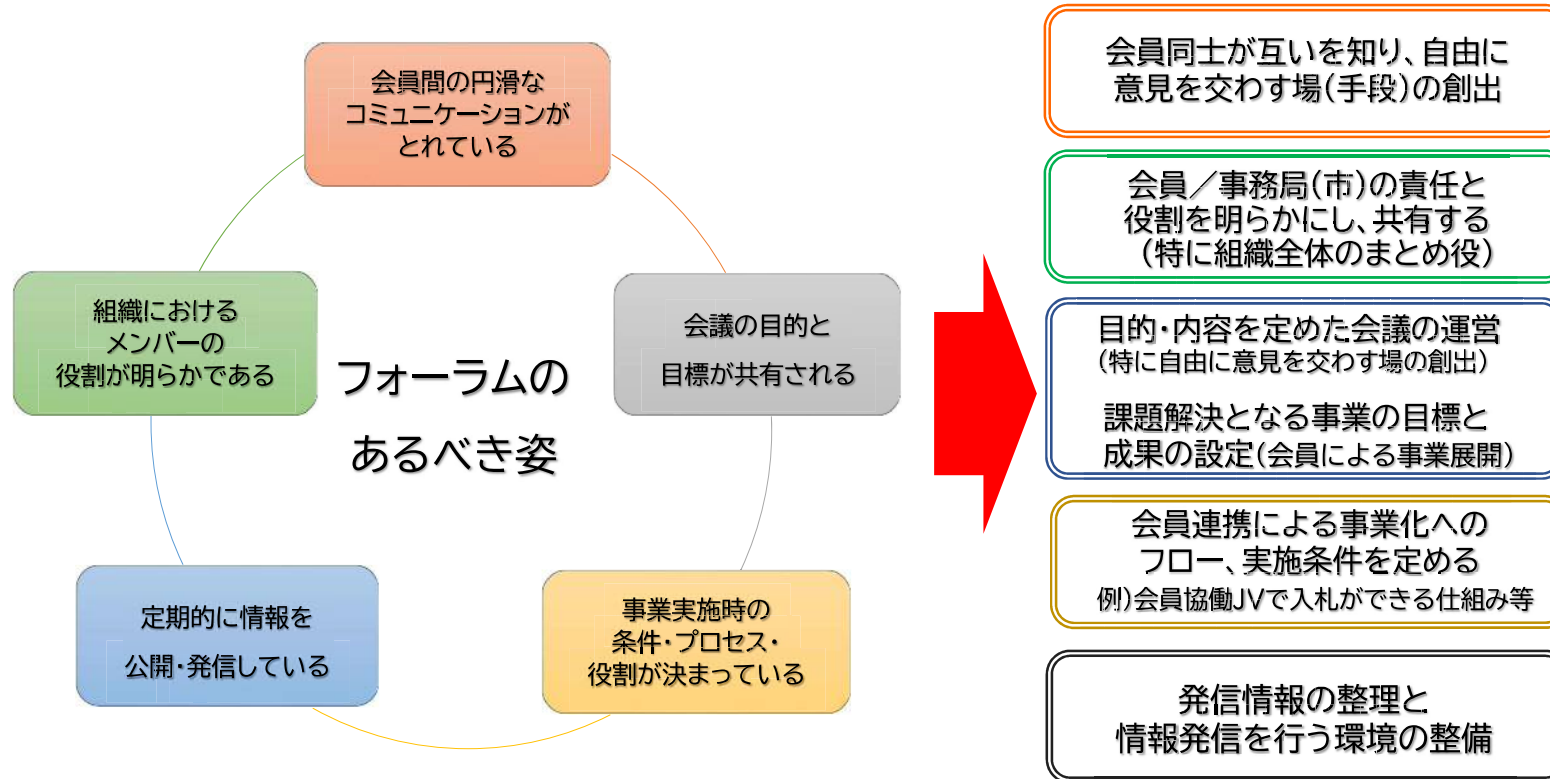
BUSINESS DEVELOPMENT ORGANIZATION

一般社団法人CSV開発機構

# 1 持続可能なフォーラム運営のための今後のあり方について

## 【円滑なフォーラム運営に向けたフォーラムのあるべき姿と今年度業務目標】

### 自立運営を目指した今年度の業務目標



### 令和2年度取組内容

- ① 作業部会
- ② 行政部会の立ち上げ準備
- ③ メールマガジンやFacebookを活用した情報発信
- ④ 会員主催事業立ち上げ準備

# 1 持続可能なフォーラム運営のための今後のあり方について

## 1) 作業部会

### ①今年度設定した作業部会会議仕様に則った継続的会議運営

情報の共有と、自由に意見を交わす場の2部構成による作業部会の継続運営を行うことが望ましい。

作業部会 目的及び運営方針	
会議の目的	1.フォーラム全体および市の取組報告・情報共有の場 (補助制度、相談窓口問い合わせ案件(必須で報告)) 2.会員が有する技術知識の共有の場 3.ビジネス創出に向けたテーマ(チーム)別の意見交換の場
開催頻度	四半期に1回の開催を目標とした(3か月に1回)
所要時間	2時間
参加対象	全会員 後半(上記3)は希望者およびグループメンバーのみでも可

### ②フォーラム全体の事業に即した部会構成の見直し・役割の整理

1 現在進行する各種事業が、将来フォーラムの主要事業として位置づけられれば、各事業ごとにノウハウや人材が充実した体制で自律的運営を行うことができる。

2 事務局運営事業も、会員からの参加協力を段階的に仰ぎ、企画運営に携わってもらいたい。

既存の取組	対象	事業概要	将来のフォーラム想定事業	
①相談窓口運営	事業者 (市民)	建築物や内装の木材利用相談対応 アドバイザーによる支援施策 設計業者等の紹介	相談窓口	1
①木材利用企画ワーキング(民間非住宅) ②公共施設木質化勉強会(公共非住宅) ③国産木材利用セミナー	事業者	非住宅の木造木質化の推進 木材利用を促進する企画提案運営	木造木質化 (企画)	2
①林産地視察ツアー	設計施工 業者	地域のプレーヤーとして頼れる 人材の育成	人材育成	3
①木育コンサート企画(音楽×木) ②地域資源体験ツアー ③優しい木の広場	市民	異分野・川上川下連携による普及 啓発イベントの企画運営 消費を喚起する取組	普及啓発 (木育)	4
①カタリストによる 木製品販売システム運用	市民			5
(①専用サイトの運営) (②Facebookの運営)	市民 (事業者)	市内の木づかい状況の見える化 (フォーラム全体の取組を緩やかに 市民に知ってもらう)	広報・PR	6

※現状の「木材資材」「設計」「建築」は2に統合できないか

※4・5は将来的に統合できるとよい。

※3は1のアドバイザーによる企画運営ができることが望ましい。

# 1 持続可能なフォーラム運営のための今後のあり方について

## 【川崎市木材利用促進フォーラム 組織図・役割（案）】

作業部会のあり方については、以下組織図の役割案をもとに、作業部会で会員と検討を図る。

### 川崎市木材利用促進フォーラム

#### 川崎市

- ・ 公共施設、民間事業者への働きかけ
- ・ 自立運営するまでの資金援助

#### 運営委員会

- ・ 取組の方向性への提言、提案
- ・ 取組成果の共有等

#### 行政部会

- ・ 部会内外の情報共有
- ・ 川下での消費を促す施策検討、事業実証

#### 作業部会

- ・ 情報・技術・課題の共有
- ・ 木材利用を促す事業の企画提案・運営

#### 事務局

- ・ 会員によるPJの全体運営サポート、進捗管理
- ・ 会員間連携、マッチング支援
- ・ 各種会議の運営、報発信、取組の紹介

### フォーラムの主要事業

### 事業者対象 市民対象

#### 相談窓口

建築物や内装の木材利用相談対応

- ・ アドバイザーによる支援施策
- ・ 設計業者等の紹介

①相談窓口運用

#### 木造木質化(企画)

非住宅の木造木質化の推進  
木材利用を促進する企画提案運営

- ①木材利用企画WG(民間)
- ②公共施設木質化勉強会
- ③国産木材利用セミナー

#### 人材育成

地域のプレーヤーとして頼れる人材の育成

- ①林産地視察ツアー

#### 普及啓発(木育)

異分野・川上川下連携による普及啓発イベントの企画運営  
消費を喚起する取組

- ①木育コンサート企画(音楽×絵本×木)
- ②木製品販売システム運用
- ③地域域資源体験ツアー
- ④優しい木の広場

#### 広報

フォーラムの取組紹介、市内の木づかい状況の見える化

- ①HP運営
- ②Facebook情報発信

※今後の協議課題  
現在の以下部会の統合  
木材資材/設計/建築

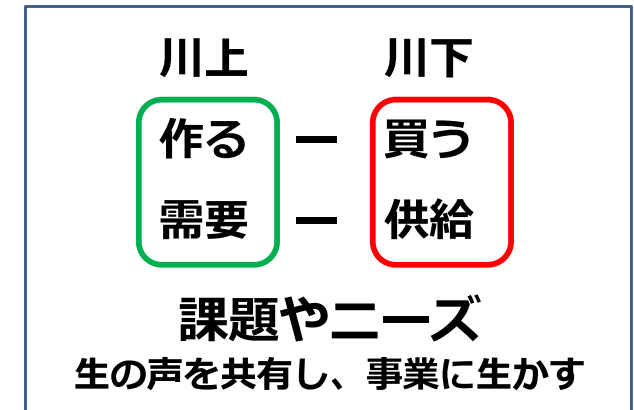
### 会員によるプロジェクトチーム構成で事業を運営

# 1 持続可能なフォーラム運営のための今後のあり方について

## 2) 行政部会

### ①行政部会会員（特に林産地の自治体）と作業部会会員との意見交換の場の創出

- ・互いに聞いてみたいこと、課題と感じていること募集、事務局で話し合うテーマを設定し、webによる情報共有会を開催する。（テーマに興味がある作業および行政部会会員のみの参加でも可）
- ・木材利用企画ワーキングのテーマにより意見交換会を設定。



## 3) 会員提案による事業

### ①会員による提案事業の運営サポート

- ・作業部会以外のフォーラムの取組や行政部会の情報の共有、連携支援
- ・可能な限りの事業立ち上げまでの資金援助

### 会員による提案事業

- ①木材利用企画ワーキング(民間非住宅)
- ②公共施設木質化勉強会(公共非住宅)
- ③木育コンサート企画

## 4) 情報共有と発信にかかる取組

- ①Facebook・メールマガジン等を活用した情報発信への継続
- ②作業部会の取組をはじめとするフォーラムの取組に関する情報発信

会員によるプロジェクト進捗報告の場を創出することが望ましい。

- ・フォーラムの取組を社会に発信する（知ってもらう）
- フォーラム専用サイトの新規立ち上げ

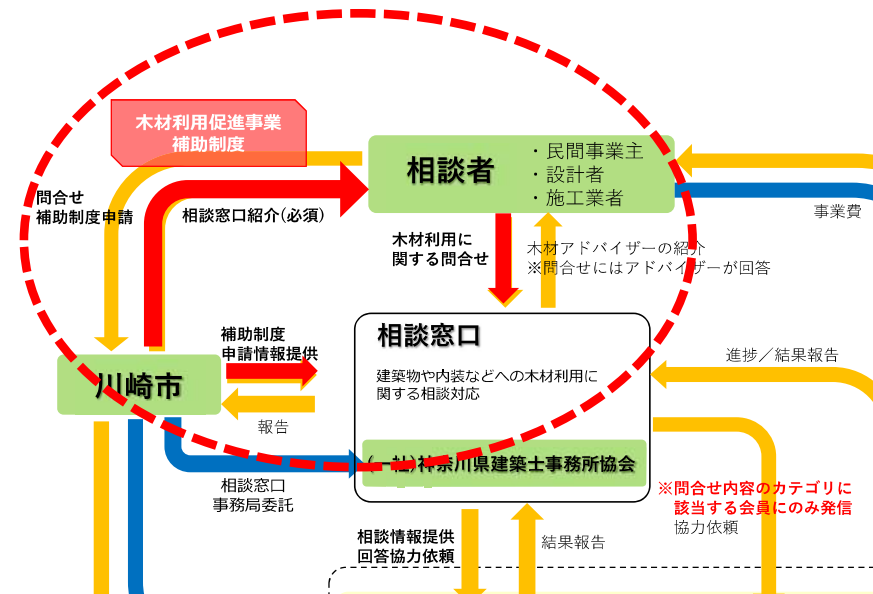
## 2 相談窓口の試行を通じたフォーラムとの効果的な連携方法への提案

①作業部会やメール通じたフォーラム会員への継続的情報発信

②川崎市に直接相談があった場合のフローの再整理

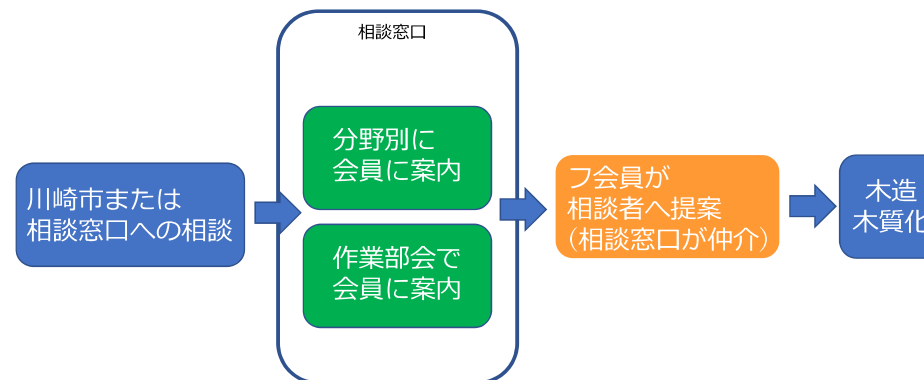
### 右図、赤矢印内の情報共有の充実

相談窓口(=フォーラム会員)からアドバイザー(会員)への情報の流れを円滑にし、会員による課題を解決する事業提案ができる体制を構築。  
相談窓口を介して「相談案件に対して会員が企画案を作成、相談者へ事業提案する」流れを作ることが望ましい。



③フォーラム会員との連携による木造木質化に関する技術や施工事例の集約と共有

相談を受けた後の目指す流れ



④相談窓口の認知を高める取り組み

他の事業実施に合わせたPRを図る。

### 3. システムを活用した市内店舗等での事業構築に向けた提案



川崎市内展示店舗 4事業者  
 林産地事業者 6事業者

#### ① 林産地の出展希望店舗を増やす取組

説明会の日時と実施までのスケジュールを設定して参加案内を行う。

	行政部会 会員	製造業者	川崎市	事務局 カタル
行政部会会員へのカタルシステムの告知 協力者募集	○		○	
<b>2週間後</b>				
行政部会会員を対象としたカタルシステム合同説明会(web・1時間)	○ 参加		○	○
<b>2週間後</b>				
製造業者向けカタルシステム合同説明会の開催日案内 行政から製造業者へ、カタルシステム紹介・説明会参加案内	○	○		
候補協力業者の選別・リストの整理・川崎市へのご提出	○		○	
<b>2週間後</b>				
製造業者向けカタルシステム合同説明会(web開催・1時間)		○ 参加		○
<b>2週間以内</b>				
製造業者による参加の意思表示連絡	△	○	○	○
<b>2週間以内</b>				
運用準備(2週間程度) → 運用開始		○	○	○

#### ② 川崎市内の登録店舗を増やす取組

- ・ フォーラム会員から市内のおすすめ店舗の紹介・推薦いただく
- ・ 会員の企業内共有スペースでの設置検討
- ・ 既存の登録店舗に他の店舗を紹介いただく

#### ③ カタルシステムを活用した川上下の連携による商品開発

##### 川崎市版カタルスペース利用の特典

- ・ 店舗 + 商品記事の無料化
- ・ 川下店舗×川下製造業者とのウェブ会議での商品開発支援 **(新規)**

カタルスペースを介した川下・川上のつながりを生かし、ECサイトの商品販売から、さらに商品開発の機会を提供、消費地が求める商品を作り手、買い手が一緒に話し合う機会を創出する。

## 4. 市内事業者が木質化等に取り組むための支援策への提案

### (1) 林産地視察

#### ① 視察の定期開催

ニーズは高いため、継続開催が望ましい。  
ただし、当面は近郊エリアで日帰り開催とした  
ほうが集客は期待できる。  
将来的に、日帰り、宿泊を伴う開催を隔年開催を検討。

#### ② 視察ツアーのパッケージ化

##### 建築系大学や専門学校との連携によるツアー開催

現在建築系の大学や専門学校でも木造建築や木造木質化に特化  
した講義は少なく、勉強する機会がない  
⇒次世代に向けた人材育成には有益な取り組み

### (2) 市内事業者を対象とした木材利用に関するアンケート調査およびセミナー開催

#### ① 川崎市の取組の見える化

##### 「臨海部の事業者の8割は川崎市の取組を知らない」

市内事業者への木材利用促進への認知、事業者が気軽に取り組む  
について理解を促す戦略的取組やツールの作成が最重要  
課題といえる。(普及ツールは会員連携によって作成)

##### \* 臨海部等大企業向けの普及ツールの必要要素

木造木質化による社会的意義・具体的効果 例) 二酸化炭素固定、ESG評価  
キーワード『企業価値の向上』『SDGs 寄与などの社会貢献』

##### \* 中小企業向けの普及ツールの必要要素

木質化による「働きやすさ」「職場への満足度向上」  
キーワード『工期の短さ』『社員の業務効率・満足度向上』

② 現在建て替えや改修を検討または予定する6事業者への個別の働きかけ

③ 木造木質化を実施後の成果・効果の把握

④ 川崎市木材利用促進事業補助制度の対象施設の条件の拡大

⑤ 木造木質化を行う案件への資金的優遇措置の検討

#### 事業者向け普及ツール構成案

表紙	項目	内容
1・2P	市長挨拶	川崎市の木材利用促進の取組/ 脱炭素戦略(かわさきカーボンゼロチャレンジ 2050)との関連性提示
	事務局挨拶	本冊子の制作意図説明(民間事業者への木材利用促進を目的に制作)
3・4P	事例紹介1	インタビュー形式で事例紹介 *市内臨海部はじめての大企業向け 林野庁/木質化実施済事業者(市内)/設計施工業者/川崎市職員 大企業が関心の高いキーワードをちりばめて(P●参照) 利用者の声(従業員/顧客の声など)/工程と工期
5・6P		
7・8P	事例紹介2	実施後の利用者の反応/工程と工期 他県(ただし行政部会)でも可
9・10P	事例紹介3	*今後ターゲットにしたい分野の事例 ⇒会員と協議して設定 保育施設/車のディーラー等の営業所/商業施設/老朽化した工場/ 老朽化した団地
11・12P	事例紹介4	オフィスの木質化事例(什器だけ木質化にする場合) 施工業者の声/技術の紹介
13・14P	木材利用の メリット	企業価値向上に寄与(ESG 投資・SDGs、地球温暖化防止(CO2固 定))をデータで提示 *コラム的な感じ
15・16P	【大企業向け】	データで示す安全性(耐火性/耐震性 これらに関するコスト比較) 構造 *コラム的な感じ
17・18P	〃 【中小企業向け】	データで示す生産性の向上・社員の職場への満足度向上 経営者および利用者の声(従業員/顧客)紹介
19・20P	コスト1	RC造と木造のコスト・工期比較 ⇒建物が軽く・短工期となる メンテナンス費 ⇒計画的な予防保全によるコストダウンが可能
	コスト2	木造木質化支援策としての補助金紹介 川崎市+国の補助金
17・18P	川崎の 取組紹介	フォーラム紹介/相談窓口案内/取組紹介【研修・視察・普及イベント・ 店舗での木材販売】/会員募集
P19	相談窓口の 案内	実際に建てる時のお困りごとにフォーラム全体で対応 企画・設計・施工・材の供給を一気通貫で支援する体制を案内
裏表紙	マップ	市内木造木質化施設のプロットマップ



## 4. 市内事業者が木質化等に取り組むための支援策への提案

### (3) 市内事業者を対象とした国産木材利用セミナーの開催

#### ①国産木材利用セミナーの継続開催

##### 企画内容への提案 (年2回開催を想定)

##### 1「木材利用の効果」

webセミナー形式で開催

##### 2「オフィスの木質化事例見学会」

実際の木質化済の施設の見学会 (施工業者・担当者による説明つき)

#### ②市内事業者へのセミナー案内拡大

##### 臨海部の事業者の参加 全体の1割程度

告知や参加案内方法の改善や、アンケート協力先も含め、他部署と連携し、臨海部以外の事業者への働きかけ・拡大が求められる。

## 5. 市民を対象としたより効果的な木材普及啓発に関する取組への提案

### (1) 森林教育プログラム

#### ① 林産地の行政部会との連携による森林等地域資源体験ツアーの継続開催

#### 性別を問わず林産地の地域資源を体験するツアーのニーズ大

ターゲット：子育てにひと段落ついた50代の一人または夫婦  
 ⇒コロナ禍をうけ、子育て世代のファミリー層の二拠点居住、移住定住を想定したワーケーションや観光へのニーズも高まりから、  
**子育て世代のファミリー層まで対象枠を広げての案内も提案する。**

#### ツアー構成案 ※現地集合現地解散

- ・山林散策
- ・伐採見学(林業従事者から生の声を聴き、話ができる機会)
- ・地域の恵みが凝縮したお弁当を食べる
- ・(15分程度で終了する木工体験)※
- ・14:00(遅くとも14:30)現地解散  
 残りの時間でゆっくり観光する時間を確保
- ・地域の観光施設・土産処を案内する現地の観光マップつき
- ・ツアー参加者だけの特典を付記 例)商業施設等の割引券
- ・現地でのアンケート+帰宅後のwebアンケート  
 ツアー解散後に立ち寄った施設の感想やコメントを集約  
 (事後のアンケート協力を前提にツアー特典を提示)

### (2) 「音楽×木」による親子向け普及啓発イベント

#### ① 「音楽×絵本×木」による普及啓発イベントの拡大

今後の取組検討課題 ※会員主催PJとして展開

- ・年齢や対象の設定
- ・オリジナルの教材制作の検討 絵本/制作楽器
- ・教材の活用方法

#### 五感を通じた木の体験⇒「木っていいな」

木に関心を持ってもらうために、非常に有益であることがわかった。  
 木の香り/手触り/堅さ/色/重さ・・・

#### ② 普及啓発の取組に求められる条件

1. 事業創出のための情報の収集や共有
2. 多岐にわたる異分野連携による事業創出
3. 普及啓発事業の多面的展開

「スポーツ」「食」「健康」など、多岐にわたる異分野連携による事業を、ラゾーナやミュージアム等、**一般市民が多く集まる市内各所で多面的に展開**することが望ましい。その結果、川崎市民全体の木への愛着や親しみが自然に形成され、結果として**国産木材に対する意識の醸成**が期待される。

## 5-2. ホームページやSNSを活用した情報発信に対する提案

①フォーラム専用サイトの新規作成・活用

②Facebookの活用 1 フォーラムに関わる取組の募集/取組報告 活用2：一般市民がフォーラムに参画できる取組の確立

### 発信情報例

- ・カタルスペースの協力店舗の紹介
- ・カタルスペースの出展事業者の製品紹介  
(制作者の想い/使用木材について等)
- ・川崎市内の木を感じられる場所・空間の紹介  
(木の香りや手触りなどでも可)
- ・暮らしに関わる木の紹介
  - ・サクラの枝で染めた布もピンク色
  - ・クスノキの枝は天然の防虫剤

### フォーラムの取組や市内での木づかいの取組への企画を公募 木製品の商品開発のモニター的立場での提案 など

例)

- ・川崎市内での木づかいの取組を広げる企画を広く募集します
- ・「こんな木製品があったらほしい！」を教えてください
- ・川崎市のなかで、おすすめの木づかいのコトやモノ、場所について教えてください

**啓発イベント参加を通じてフォーラムや取組に興味を持った方が、市の取組に関心と可能な範囲の参画を仰ぐために**

- ①フォーラムについて情報を深堀できるツールとしての、フォーラム専用サイトの新規立ち上げ
- ②緩やかに日本の森や木に関する知的好奇心をくすぐるような一般市民向け情報の定期発信
- ③受け身ではなく、参加型の取組 市民目線でのフォーラムの取組への意見や企画提案

④脱炭素戦略「かわさきカーボンゼロチャレンジ2050」と連動した国産木材利用促進の展開・PR

**市が推進する国産木材利用促進にかかる取組は、  
カーボンゼロチャレンジの取組にも寄与する**

特に市内事業者に示し、2つの取組を一体的に展開、  
効果の数値化・見える化を図る取り組みを行う。

**オフィススペースの木質化や木製什器の導入時の**

- ・具体的な目標設定
- ・木材活用によるCO2削減量の見える化

# まとめ：フォーラムの事業展開と目指す姿

## 事業者

## 一般市民

